（様式５）

令和２年 月 日

「ESGファイナンス・アワード・ジャパン事務局」　殿

 申請者 住所

 氏名　法人の名称

 　　代表者の役職・氏名

第２回ESGファイナンス・アワード・ジャパン応募申請書
（資金調達者部門）

１．応募の名称

※　対象事例を踏まえて、提案事業の名称を記載してください。

「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

２．応募者概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 企業・団体 | 企業・団体名 |  |
| 代表者名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 代表電話番号 |  |
| 担当者 | 氏名(ふりがな) |  |
| 所属 |  |
| 役職 |  |
| 電話番号 |  |
| E-mail |  |
| 連名の場合 | 社名１ |  |
| 社名２ |  |
| 社名３ |  |

３．取組内容（※応募内容は、”E”（環境）を中心に10～15枚以内での記載をお願いいたします。）

【目標・戦略・フレームワーク】

|  |
| --- |
| 表彰対象となる取組の概要* インパクトの創出を目的とした取組の資金調達において、ESG関連の債券や融資を活用し、関連市場の拡大に貢献している事例や資金調達者の取組
 |

1. 資金調達を行うにあたり資金使途の対象となる事業や設定した目標等に関連する環境目的等が資金調達者の戦略、長期ビジョン等にどのように位置づけられているか記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. 資金調達に関するフレームワーク等があればその内容について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. 資金使途の対象となる事業等により実践される取組が継続されるための仕組みや体制づくりについて、記載してください。

|  |
| --- |
|  |

【透明性】

1. 対象事業・プロジェクト及び設定した目標に対する進捗状況及びインパクトについて開示している箇所を具体的に記載してください。また、その更新頻度についても記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 開示項目１ |  |
| 開示先 | URL：更新頻度： |

　※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 開示項目２ |  |
| 開示先 | URL：更新頻度： |

　※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。

【実績】

1. 申請した事例により調達した金額及び長期借入金と社債残高の合計に占める割合を記載してください。
（対象事例の金額が占める長期借入金と社債残高の合計値に対する割合で評価を行います。）

|  |  |
| --- | --- |
| 調達額（※１） |  |
| 長期借入金と社債残高の合計（※２） |  |

※フォーマットは上記に限定せず、上記の要素を含む形で適宜変更いただいて構いません。

※１複数事例が対象となる場合は、その合計額と個別事例ごとの金額をそれぞれ記載してください。

※２対象事例により資金調達した年の額を記載してください。複数事例の場合はそれぞれの対象年で記載をしてください。

【インパクト】

1. 申請した事例により創出されると想定される/創出されたインパクト、あるいは設定した目標について具体的に記載してください。
（可能であれば、業界レベルにおいてどのような位置づけになるかを明記してください。）

|  |
| --- |
|  |

1. 上記で記載いただいた以外の環境・社会目的に悪影響を与えるものではないことの確認を実施しているか。実施している場合、実施している方法を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

【新規性・波及性】

1. 対象取組に関する新規性や独自性について記載してください。また、その新規性や独自性がどのようにESG金融の拡大に寄与しているか、記載をしてください。

|  |
| --- |
|  |